



DE VILLE

DE VILLE OMEGA CO-AXIAL ANNUAL CALENDAR 41 MM
ステンレススチール & レザーストラップ

キャリバー
8601

431.13.41.22.01.001

- Co-Axial escapement
- Si14 silicon balance spring
- Automatic
- Chronometer
- Annual calendar
- Sapphire crystal
- Anti-reflective treatment on both sides
- Sapphire crystal case back
- Water-Resistant to a relative pressure of 10 bar (100 metres/330 feet)



機能

リュウズは3つあります。

1. 通常位置（着用時）：リュウズがケース側に押し込まれている状態で、時計の防水性が確保されます。

再着用時：時計を55時間以上着用していない場合は、1の位置でリュウズを巻き上げます。

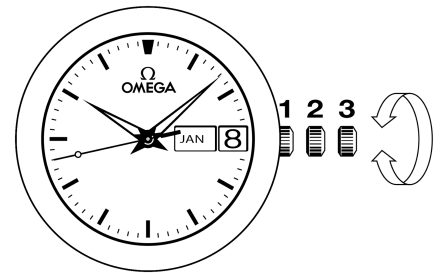
2. アニュアルカレンダー：リュウズを2の位置に引き出します。日付を修正するにはリュウズを12時側に回し、月を修正するには6時側に回します。リュウズを1の位置に押し戻します。

備考：2月28日、または29日（閏年による）の翌日のみ、1~2日の修正が必要になります（2の位置でリュウズを回す）。日付の修正は、時刻の設定の後に行うようにします。午前0時から午前10時の間に日付を修正する際、はじめのうちは少し力を入れる必要があります。

注意：表示（日付や月）が小窓の中央にないときは、修正操作を終了しないでください。

3. 時刻（時、分、秒）の設定：リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズを前か後ろに回します。リュウズを6時側にのみ回して針を現在時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻して秒針を同調させます。

注意：時刻の設定で日付を戻して修正する場合、日付の移行が支障なく行われるには、必ず午後2時まで戻すようにしてください。



フォールディング・クラスプ

開く (fig.1) : クラスプを開くには、オメガ・バックルの両方を押してから引き上げます。

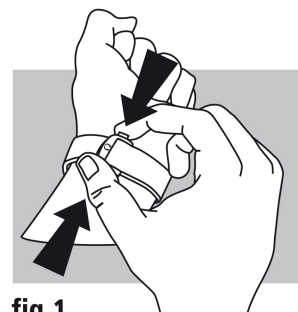


fig.1

閉める (fig.2) : 時計を手首にはめ、カチッと音がするまで親指でクラスプを押して閉めます。



fig.2

長さの調整 (fig.3) : 金具Aと突起Bから、長いほうのストラップをはずします。必要に応じて長さを調整し、ストラップの穴を突起Bにはめ、ストラップの両サイドを金具Aの内側に納めます。必要があれば、再度調整してください。

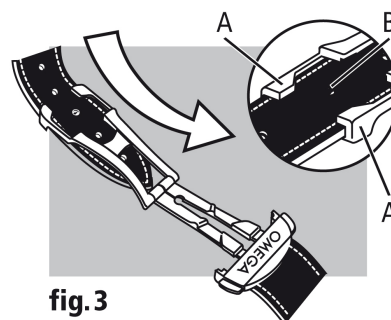


fig.3